

早稲田社会学会ニュース 第29号

2007年4月26日発行

早稲田社会学会事務局
〒162-8644 東京都新宿区戸山 1-24-1
早稲田大学文学部 社会学研究室内
Tel: 03-5286-3742
E-mail: socio-office@list.waseda.jp
URL: <http://www.waseda.jp/assoc-wss/>

今回のニュースの内容

1. 第59回早稲田社会学会大会および総会開催のお知らせ
2. 本年度大会シンポジウムについて
3. 大会一般報告および『社会学年誌』第49号投稿の募集
4. 2007年度研究助成の募集
5. 第28回研究例会開催のお知らせ
6. 入退会者のお知らせ
7. 学会費納入のお願い

1. 第59回早稲田社会学会大会および総会開催のお知らせ

本年度の早稲田社会学会大会および総会が、2007年7月14日（土）に、早稲田大学人間科学部（所沢キャンパス）第一会議室において開催されます。シンポジウムのテーマは「時間と空間のなかの家族」です。詳細につきましては次項「本年度大会シンポジウムについて」をご参照ください。一般報告などを含むプログラムの詳細につきましては、6月中旬にお知らせする予定です。

事務局では大会での一般報告を募集いたします。報告を希望される方は、第3項をご参照のうえ、事務局宛までお申込みください。

2. 本年度大会シンポジウムについて

テーマ：「時間と空間のなかの家族」

報告者：根ヶ山光一（早稲田大学）、嶋崎尚子（早稲田大学）、山田昌弘（東京学芸大学）

討論者：藤村正之（上智大学）

司会者：池岡義孝（早稲田大学）

<趣旨説明>

家族は、人間が生命を受けつぐもっとも基層的な集団であると同時に、もっとも基礎的な社会的機能を担う集団であり、家族は常に社会変動にさらされている。

近代家族論は、愛情といった基層的にみえる感情もまた、社会制度の一部であり、時代のなかでそのあり方を変えてきたことを指摘している。近年、未婚化にともなう親子関係の変容が注目され、家族研究の枠組みをこえた幅広い論者の関心を集めたことは記憶に新しい。さいわい、近年、日本の家族研究は、社会学・心理学・行動学などのさまざまな分野で、経験的研究の蓄積がされており、こうした知見をもとに、現代家族をアクチュアルに論じることができるようになりつつある。そうした研究には、家族をダイナミックな時間・空間的コンテクストに位置づけてとらえたものがあらわれている。こうした成果をふまえつつ、身体を基盤とする家族が、社会制度に支えられながら営まれることの、自由さと困難について理解を深めることにしたい。

3. 大会一般報告および『社会学年誌』第49号投稿の募集

申し込みを希望される方は、以下の項目をA4の用紙1枚に記入し、事務局宛てに郵送又はE-mailにてお送りください。両方に申し込む場合には、それぞれ別の用紙で申し込みをお願いいたします。

大会一般報告、または『社会学年誌』第49号投稿、のいずれかを明記してください

- (1) 氏名
- (2) 所属
- (3) 郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス
- (4) 題目（副題を別として25字程度まで）
- (5) 内容概略（200～400字程度）

大会報告：申し込み締め切りは、5月19日（消印有効）です。

『社会学年誌』投稿：申し込み締め切りは、6月30日（消印有効）です。

『社会学年誌』原稿の提出締め切りは、8月末日（消印有効、郵送のみ受付）です。申込書提出後の題目、内容の大幅な変更は認められませんのでご注意ください。また、申込後に投稿を辞退なさる場合は、8月15日までにその旨を必ずご連絡下さい。なお、分量、書式その他、投稿規定については、『社会学年誌』の最新号（第48号）をご参照ください。

また、現在早稲田社会学会会員でない方で発表もしくは投稿をご希望の方は、上記の申込書とあわせて入会申込書をお送り下さい。入会申込の手続きまたは申込書の入手方法につきましては、学会HPの「入会案内」をご覧ください。

4. 2007年度研究助成の募集

これまでに当学会に寄せられた寄付金により、寄付者のご意思を尊重して、次の要項により会員各位の研究活動を助成いたします。

助成対象：早稲田社会学会の発展に寄与する研究活動

助成額： 1件30万円程度を上限とする

助成を希望される方は事務局までご連絡ください。追って「申請書用紙」をお送りいたします。申請書の提出締め切りは、5月23日（消印有効、郵送のみ受付）です。なお、「早稲田社会学会研究助成取り扱い要領」の規定により、「助成の直前の年度まで継続して2年以上の会員歴がある」方が対象となります。また、研究助成を受けられた方には、学会大会一般報告（または学会誌投稿）により、その成果を報告していただくようお願いいたします。

また、この趣旨に賛同される方からのご寄付も募っております。寄付についてのお問い合わせは事務局までご連絡ください。

5. 第28回研究例会開催のお知らせ

第28回（2007年度第1回）研究例会が下記の要領で開催されます。

今回の研究例会は、本年度大会シンポジウム「時間と空間のなかの家族」のプレ企画として開催されます。多数のご参加をお待ちしております。

日時：2007年5月26日（土） 14:00-17:00
会場：早稲田大学文学部（戸山キャンパス）第2会議室
司会者：澤口恵一（大正大学）
報告者および題目：

河原紀子（共立女子大学）

「乳幼児の食行動における自律プロセス—養育者との対立と調整を中心に—」

概要：食べるという行動は、人間の生命と健康を支える上で不可欠な行動である。特に、乳幼児期の食行動の自律プロセスは、人間発達の根幹をなす過程と考えられる。本報告では、養育者に食べさせてもらうことら自分で食べることへの移行とその過程で生じる乳幼児の拒否行動と養育者の対応、養育者の乳幼児に対する制止行動に注目し、その発達的変容について保育園と家庭という異なる社会的文脈において検討した結果を提示する予定である。

中川敦（早稲田大学大学院） 「「遠距離介護」の自然史に関する一考察」

概要：近年、多様化する家族介護の1つとして「遠距離介護」という現象が注目されている。これまで自明視されてきた同居介護を、「遠距離介護」者はなぜ選択しないのだろうか。介護の社会化が進展している中で、なぜ「遠居」の子供が介護に参加するのだろうか。本報告ではこうした事柄を理解するために、具体的な「遠距離介護」の時間的な変容、すなわち自然史を、報告者が行なったインタビューデータの質的分析を通じて明らかにしていく。

6. 入退会者のお知らせ

2006年12月16日の理事会において次の1名の入会が承認されました。

庄司武史氏（早大社会科学研究科）

7. 学会費納入のお願い

今年度の学会費を、同封の「郵便振替払込書」にてお振り込みくださいますようお願い申し上げます（発送事務作業の都合上、今年度分をすでに納入されている方、および名誉会員の方宛てにも同払込書を同封いたしますこととお赦しください）。

年会費： 一般会員 5,000円 学生会員 3,000円

口座番号： 00100-3-38020

加入者名： 早稲田社会学会

新年度にあたり、ご所属・ご連絡先等に変更がありましたら、その旨を通信欄にお書き添えください。

会費を3年以上滞納されますと、2000年7月8日の総会決議および2000年12月16日の理事会決議にもとづき、会員資格の一部が停止されます（次の3つの権利が失われます。①学会大会で報告すること ②『社会学年誌』へ投稿すること ③『社会学年誌』の配布を受けること）のでご注意ください。

以上